

北九州市型外国語教育とは

小学1年生から中学3年生の9年間を通して、コミュニケーション能力、異文化理解の精神を身に付けるとともに、自ら考えて行動する主体性・積極性などを育む、北九州市と世界の架け橋となる人材の育成を目指す北九州市独自のカリキュラムです。

Point/

1 低学年から英語を楽しむ!

Point/

2 「自分の考え」を英語で発信!

Point/

3 小中一貫した外国語教育



北九州市オリジナルのテキストを作ったり、教室・廊下などに教員が作成した掲示物を張ったりすることで、英語を身近に感じられるように工夫しています

北九州市独自の取り組み



小・中学校 9年間英語を学んで

先行実施校で外国語教育リーディングスクールの、ひびきの小学校と洞北中学校（若松区）で9年間英語を学んだ中学3年生にインタビューしました。

英語を学んで

小学生の頃には単語の発音くらいしか分からなかったけれど、その学習があったからこそ、中学校に入った時に単語の意味がすぐに理解できるようになりました。また、中学校では文法もしっかり学んだので、文法を生かしている人々と会話することができるようになりました。



3年 米岡杏珠さん

将来の夢

私は将来、小学校の先生になりたいと思っているので、これまで自分が習ってきた英語を思い出しながら、「どうしたら分かりやすく教えられるか」を考えて、教科書だけでなく身の回りのものも活用しながら子どもたちにも教えていきたいなと思っています。

英語を学んで

洋楽が好きで、中学1年生の頃はリズムや音を楽しんで聴いていたんですが、3年生になった今は、英語の歌詞の意味も含めて、曲全体を楽しめるようになりました。お兄ちゃんと一緒に映画を見る時も、英語のまま見て、迫力を楽しんでいます。



3年 堂元 昶さん

将来の夢

野球をやっているの、高校・大学でも野球を続けて、英語もしっかり話せるようになって、将来はメジャーリーグで通訳なしでプレーするのが夢です。友達の中にも、海外で働きたいと言って、英語で面接の練習をしている人もいます。グローバルな世界で通用する大人になりたいです。